

市響

第417回「市響楽の午後」



2021.7.11(日)

14:00開演(13:30開場)

行徳文化ホールⅠ&Ⅱ

(東京メトロ東西線行徳駅下車)

入場無料・整理券発行

指揮：大浦智弘

管弦楽：市川交響楽団

コロナ禍におけるコンサートの開催となりますので、団員一同、クラスター発生とならないよう、万全の体制にて演奏会を実施いたします。
お客様におかれましても、ご来場の際は、下記の注意点を遵守くださいますよう、ご理解とご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

* 注意事項

- ・この演奏会は乳幼児、小学低学年を対象としておりません
- ・演奏中にお子様の落ち着きがなくなった場合は一度ロビーに出られて様子を見て再入場されるようお願いします
- ・37.5度の発熱、体調不良の方の入場はできません
- ・建物内のホール、ロビーではマスク着用とします

・ホール定員の5割程度の人数制限を設けて入場受付を行います

・会場をお待ちいただく際はソーシャルディスタンスにご配慮下さい

・ホール入口ではアルコールスプレーによる手指の消毒をお願いします

・当演奏会では演奏中体調不良となった場合は途中退席を可能とします

・座席は全自由席です。前後左右は間隔を空けてご着席下さい

・その他ホール係員のご案内に沿った行動をお願いします

本日のプログラム

シベリウス／カレリア

序曲Op.10 (10分)

組曲Op.11 (15分)

第1曲：間奏曲

第2曲：バラード

第3曲：行進曲風に



(20分)

〈生誕150年記念〉

ステンハンマル／交響曲第2番ト短調 Op.34 (45分)

第1楽章 Allegro energico

第2楽章 Andante

第3楽章 Scherzo: Allegro, ma non troppo presto

第4楽章 Sostenuto - Allegro vivace

プロフィール



指揮／大浦智弘 (おおうら・ともひろ)

宮城県塩竈市出身。東京学芸大学教育学部を卒業後、同大学大学院を修了。ピアノを斎藤信子、須田昌宏、作曲を小林康浩、吉崎清富、指揮を松岡 究、山本訓久、小林研一郎、スコア・リーディングとオペラ・コーチングを田島亘祥、レオナルド・カタラノットの各氏に師事。

新国立劇場、びわ湖ホールをはじめ各地のオペラ団体や管弦楽団、合唱団等において著名な指揮者のアシスタントや合唱指揮者を務めて研鑽を積んだ後、数々のオペラ公演やコンサートを指揮している。2015年には日立シビックセンター開館25周年記念事業ひたち野外オペラ『マクベス』を指揮し、約1万人もの観客のもと公演を成功に導いた。近年はマニヤール／交響曲第4番、ステンハンマル／交響曲第1番、ドヴァリヨーナス／ヴァイオリン協奏曲、シャルヴェンカ／交響曲等の日本初演を手掛けるなど、知られざる作品の演奏にも意欲的に取り組んでいる。

現在、オーケストラ『エクセルシス』正指揮者。栃木フィルハーモニー交響楽団常任指揮者。オーケストラ・ドゥ・センダイ指揮者。浦和ユース・オーケストラ指揮者、東京農業大学OBOG管弦楽団指揮者。市川交響楽団をはじめ、町田フィルハーモニー交響楽団、埼玉フィルハーモニー管弦楽団、麻生フィルハーモニー管弦楽団、愛媛交響楽団等、各地のオーケストラに客演。国立音楽大学オペラ研究会指揮者。東洋大学混声合唱団常任指揮者。東京二期会オペラ研修所講師。

管弦楽：市川交響楽団 (いちかわこうきょうがくだん)

2021年に創立70周年を迎えるアマチュアとしては全国有数の伝統を持つオーケストラ。メンバーは現在100余名で年齢構成は高校生から70代までの幅広い層にわたり、職業も会社員、教員、主婦など多彩。地元市川市での演奏会を中心に全国各地での文化行事やオーケストラ・フェスティバル等にもしばしば招かれ演奏を披露している。著名な音楽家との共演も数多く経験しているほか、特に地元ゆかりの音楽家との共演にも力を注ぎ、地域の音楽芸術の振興に多大な貢献をしている。市川交響楽団は市川混声合唱団、市川交響吹奏楽団、行徳混声合唱団、市響ジュニアオーケストラの各団体とで構成する市川交響楽団協会の中核として“クラシック音楽をより多くの市民に楽しんでもらおう”をモットーに常に積極的な活動を展開している。

3月12日にウェビナー『音楽とSDGsってなに?』を聴講しました。市川交響楽団が所属する(公社)日本アマチュアオーケストラ連盟の主催で、副題は「Withコロナの時に考える、アマオケの皆さんに持っている力(モノ)ってなんでしょう。音楽で、皆さんで、住み続けられるまちづくりを。」です。

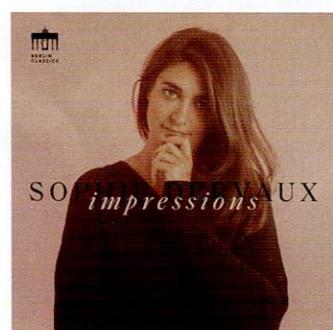
SDGs(持続可能な開発目標)とは、人間社会と経済活動の持続可能性は地球環境に支えられていると考え、「貧困」「ジェンダー不平等」「地域間不平等」「自然環境変動」「過度な消費行動」などを是正する世界の共通目標です。多くの皆さんに下記のポスターをご覧になっていると思います。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



目標5「ジェンダーの平等を実現しよう」に限らず、SDGs全体の理念として「誰一人取り残さない」という考え方があります。多様な人材がお互いに認め合い、受け入れ合う機会と風土を作り出すことは、SDGsの目標達成において必須であると考えられています。多様性の視点を持つことがSDGsを統合するひとつの軸となるということです。多様性は、人種・言語・ジェンダー以外にも、考え方・観点・経験、仕事のレベル・スキル、信仰・年齢・身体的能力といったものも含まれるとされています。

私はオーケストラほど「多様性」が早い時点で実現されている団体はないと思っています。アメリカのオーケストラでは早くからカーテン越しのオーディションが行われ、結果多くの女性が採用されました。伝統的なスタイルを持つウィーンフィルの現在の首席



ファゴット奏者ソフィー・デルヴォーはフランス生まれの女性で、彼女の存在は大きな良い影響をオーケストラに与えています。今年創立70周年を迎える我ら市川交響楽団でもいうまでもないことは、本日のステージをご覧いただければと思っています。アマチュアといえども今や自分たちのやりたいことをやるだけでは支持は得られない時代です。多様性に限らず、アマチュアオーケストラにとってのSDGsを考えさせられた時間でした。

2020年のデータではSDGsの達成度ランキングでは1位スウェーデン、2位デンマーク、3位フィンランドと北欧が上位を占めています(日本は先年から2つ順位を落とし17位、男女格差では120位)。

その理由として北欧の高い教育水準と行き届いた社会福祉が言われています。教育では、エコシステム、循環型経済といった良き消費者であることを義務教育から教わり、社会福祉が、行き届いた行政サービスの充実が女性の就業率の高さをもたらしています。

今日お届けするシベリウスと、ステンハンマルはともにほぼ同時代に生きた北欧の作曲家です。

シベリウスが生きたフィンランドは、12世紀からスウェーデン領下、19世紀にはロシアの圧制下にありました。その歴史的背景からフィンランドは独立意識が高く、シベリウスは民族的題材にインスピレーションを得た作曲で、国家的英雄とされています。彼のサウンドは北欧の空気の色を感じさせます。



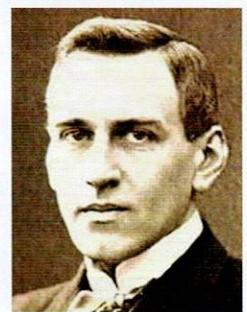
シベリウスは新婚旅行でフィンランド人にとっては精神的な故郷ともいわれるカレリア地方に訪れ、そこでの伝説や民謡に心打たれ作曲したのが歴史劇音楽『カレリア』です。今回はのちに出版された序曲と組曲をお届けします。序曲Op.10は森と湖の国を象徴するフィンランドの原風景を思わせる部分と間奏曲で用いられるメロディでできています。

組曲Op.11は、ホルンやトランペットのメロディが心地よい第1曲：間奏曲、吟遊詩人が歌う場面の第2曲：バラード、爽やかな第3曲：行進曲風に、の3つの曲で構成されています。

スウェーデンは北欧最大の国で国土面積は日本とほとんど変わりませんが、人口は約1千万人で自然豊かな国です。IKEA、H&M、Volvo、テトラパックなど世界的企業が多く生まれています。

ステンハンマルはドイツ留学を経てピアニストとしてデビューし、指揮者としてドイツ音楽への強い傾倒を示し、作曲家としてもその作品はブラームスの影響を強く感じさせるものでした。その代表作が交響曲第1番でしたが、のちに友人のシベリウスらに触発され、徐々に独自の音楽世界を開拓していく上で自らそれを撤回します。そして今回の交響曲第2番が生まれます。

一度聴いたら忘れられない3拍子の舞曲風旋律で始まる第1楽章力強いアレグロ、第2楽章アンダンテは哀愁のある旋律が聞きどころです。第3楽章スケルツォはスウェーデンの民族舞曲を思わせます。もしかするとブラームスのハンガリー舞曲の影響もあるかもしれません。中間部の木管楽器が聞きどころです。この交響曲を締め括るのに相応しい第4楽章は壮大なフーガによるフィナーレです。自らが撤回したドイツロマン派の音楽を乗り越えたステンハンマルの信念の力強さを感じさせます。



本日の出演者

【コンサートミストレス】

立 田 祥 子

【第1ヴァイオリン】

石 崎 俊 信

大 橋 一 郎

皆 合 愛 子

菅 原 夕

佐分利 幸 江

早 川 貴 子

本 郷 尚 子

渡 辺 惟

【第2ヴァイオリン】

大 橋 かおる

滝 澤 葉 子

秦 一 宜

細 貝 春

久 田 しげ子

牧 田 太 郎

溝 田 範 子

武 藤 敦 子

山 本 芳 功

【ヴィオラ】

内 田 綾 美

園 田 陽 子

谷 口 善 樹

奈 良 林 弘 子

星 乘 昭

【チェロ】

岩 田 啓 子

倉 澤 倫 子

中 村 公 一

日 澤 優

福 原 耕 二

【フルート】

佐 藤 洋 行

徳 重 京 子

二 木 陽 子

【オーボエ】

五十嵐 文 人

白 木 広 美

古 澤 恵 子

本 間 広 樹

日 澤 優

福 原 耕 二

二 村 直 子

【ホルン】

井 村 公 子

木 下 泰 斗

近 藤 利 昭

嶋 村 恒 夫

武 井 綾 香

林 田 朋 子

【トランペット】

田 崎 真 二

新 井 本 昌 宏

八 木 巧 次

【トロンボーン】

阿 部 浩 人

石 黒 弘 道

藤 平 一 仁

渡 邊 鐵 雅

【テューバ】

金 坂 哲

山 内 静

【ファゴット】

井 垣 葉 子

遠 藤 由 紀 子

金 坂 哲

山 内 静